

# PRO-LIFE NEWS

(中絶に反対する運動)

〒780 高知市新本町一丁目七番三十一号

## 胎児の

## 大切な生命

私は、すべての人間の生命は…受胎の瞬間からその後のあらゆる段階に至るまで…聖なるものであると、皆さんの前で、そして全世界の前で、ためらうことなく宣言したいと思います。

人間の生命が聖なるものであるのは、それが神のかたちに似せて造られているからです。人間の偉大さ、尊厳にまさるものは何もないのです。

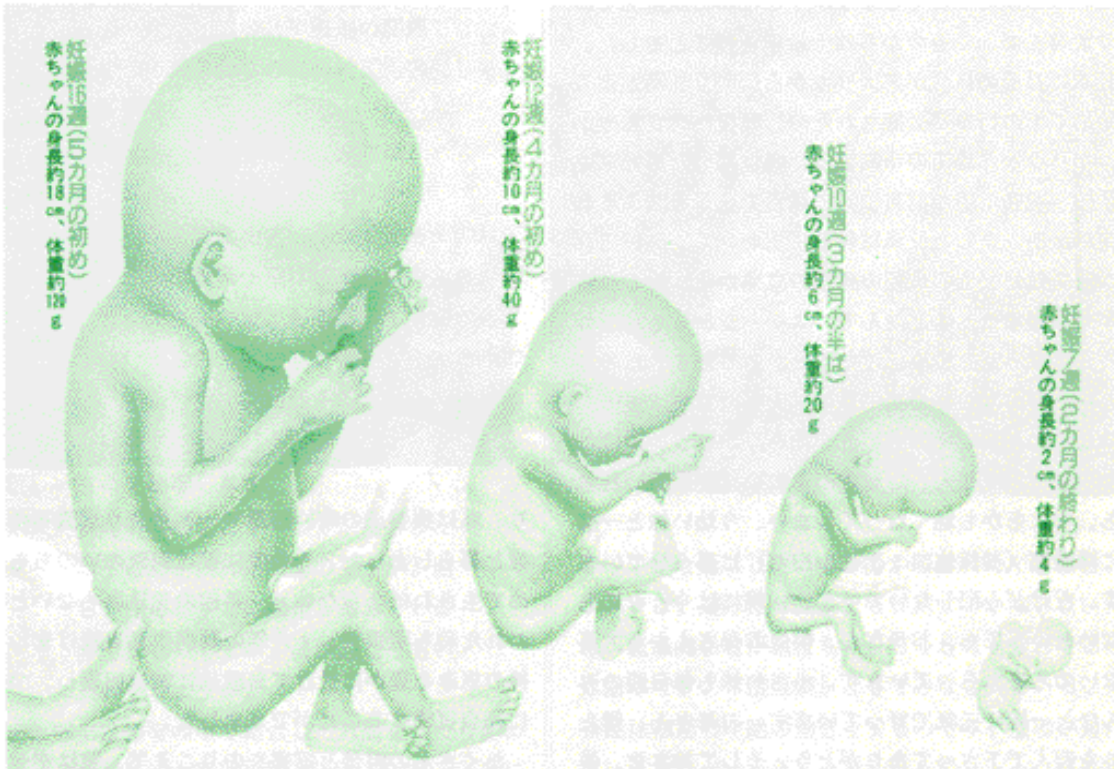
人間の生命とは、単なる一つの理念や抽象概念ではなく、愛する力をもち、人間性へ奉仕することのできる一個の存在という具体的な実存なのです。

もし、人の生命への権利が、母親の胎内で受胎された瞬間に侵害されるようなことがあれば、道徳の秩序全体にも間接的な打撃

が加えられることになるのです。

人間の生命は、無限の愛のみなもとである神の賜物であるがゆえに尊いのです。

【ヨハネ・パウロ 世】



## 母の日に想ひ...

みどりの風のさわやかな五月は、母の日」があり、世界中のお母さんはこの日、家族たちに囲まれて互いに思いを新らたし感謝をかわす喜びの日です。いつの頃だったでしょうか？さだかには憶えておりませんが、多分今から四十余年昔のことでした。日本に「母の日」がアメリカから伝わり、高知市で初めてその行事が公開された時、戦災から立ち上がったバラック建ての市街地に、焼け残った旧城東中学校（現在：追手前高校）の講堂で、母を讃える集会が開かれました。私は特別に招かれて、施設に育つ戦災孤児とその母親の代役の立場から、他の幾組かの幸福な母と子と並んで、メッセージからそれぞれのメッセージを読み上げたことがあります。私の伴っ

た当時中学一年の男の子は、大きな声で『天国のお母さん、僕を産んで下さってありがとう。僕はこの戦争でお父さん、お母さんを失い、住んでいた家も、なにもかも無くなつてしまひ、今幼い妹と一指に博愛園（養護施設：土佐山田町）に暮らしています。だけれど心配しないで下さい。僕には今、なにもないといつても、お母さん、僕はお母さんから大事なのちをもらっています。小さい妹も毎日園のみんなと一緒に元気で育っています。お母さん、僕たちを産んで下さってありがとう。そして神さま、僕たちにお母さんに代わる先生をくださってありがとう。いただいたこのいのちを大切に、一所懸命頑張つて生きてゆきます。』彼は頬を紅潮させて叫ぶように元気な声で言いました。洪水のような拍手がおこり、そのどよめきを令、こつして思

い出していると、四十余年昔のことが、急に昨日のこのように鮮やかによみがえつてきます。あの日、あの時も空がきれいに晴れて青かつたし、日曜いちも連なつていたし、あの講堂には立錐の余地も無い程に参加した母と子が一杯溢れていたし。その日の帰り道、私たちはバラックの並ぶ街通りを手をつないで大きな声で歌つたり、かけっこをしながら園に帰りました。

その後いろんなことがありました。彼ひとりを取り上げて、驚くような厳しい人生が彼をがんじがらめに縛つてゆきました。あの時からまもなく小児結核で倒れた彼は、二度返もいのちの危機におちいり、私は療養所の暗い部屋で一ヶ月余り意識不明の彼と暮らしました。その度に彼は両親のいのちも含めて生きねばならないと、再起の見込みもないとい

われた時も頑張り、十余年の闘病生活を続けました。神の恵みを豊かに受けて奇蹟的に彼は回復し、ついに社会復帰することができました。たくさんの困苦と障害をのりこえて、彼は幸せな家族、家庭をもち、社会福祉をライフワークとして、地域社会で西に、東に奔走し、いのちのある限り頑張るのだと情熱を燃やしています。しかし彼もいつの間にか五十余才となりました。私にとつては、始めて彼と出会つた無邪気な少年のイメージがまだに心の底に焼きついてはなれませんが。

毎年「母の日」がくる度に、紅白のバラの花束に、かつての日と同じように『天国のお母さん、僕を産んで下さってありがとう。』博愛園のお母さん、僕を育てて下さってありがとう。』と二つのメッセージを届けてきます。

長い年月にわたつてのこれらのさまざまなることを思いめぐらせる時、私はなんともいえない神の深いはからの絶妙さ、母から子に伝わるいのちの尊厳と神秘、愛の絆の強さを思わずにはいられません。

青涛の家長：武田 紀

# ABORTION

## QUESTION & ANSWERS

避妊と産児制限は同じですか

避妊とは、薬剤投与もしくは精子が卵子に結合するのを妨げる工夫によって受精を防ぐ行為です。しかし、避妊の推進者は同時に中絶の推進者でもあるため、産児制限はただ単に器具や薬剤の問題ではなく、それを推進する主義そのものについても表現しているといつてもよいでしょう。

産児制限（避妊）の方法には、それぞれ違いがあるのですか

産児制限法は妊娠を防ぎます。少なくともそのはずです。コンドームや殺精子剤は精子を殺したり、卵子にたどり着くのを防い

で、したがって受精が起こらないようにつくられています。しかし、ある種の産児制限法は新しい生命を抹殺するような方法で働きます。IUD や新薬 RU486 を含む避妊用ピルは新しい生命を破壊します。

産児制限法はどうやって、結合した精子と卵子に作用するのですか。新しい生命がすでに成長し始めているのではないですか。何が起こっているのでしょうか。

精子と卵子は卵管の中で結合し、人間をつくり始めます。この新しい人間は卵管を下りていつて子宮に着きます。7〜9日かかります。この新しい生命が子宮の壁に着床しなければなりません。そこで成長し栄養を得るためです。IUD は子宮の壁を刺激し痙攣させ、子宮の壁に受

け入れられないようにするので。炎症のため着床できないので彼女が死ぬのです。

避妊用ピルには、主な二つの方式の働き方があります。子宮頸部粘液を濃くする（一時的な不妊状態を引き起こします）。子宮のホルモンのバランスを変えて、もし精子が子宮頸部に入ってきたとしても、卵

子と精子が結合するのを防ぎます。避妊用ピルはまた子宮が受精卵にたいして全く協力しないようにして中絶を引き起こすようにも働きます。私たちはこの三つのうちのどれが子宮の中で起こっているか判断できないので、ピルを避妊法とはみなせません。いつ中絶を起こしているか分からないのですから。

人々は、避妊用ピルがどう作用するか知らないため、医療関係者が私たちにRU486を使わせるのは簡

単です。『避妊薬』としてみなされているこの薬品は初期の中絶の働きをするのです。生理が遅れている女性がいたらこう言われるでしょう。「妊娠したかも知れないなんて悩む必要はないのです。この薬さえ飲めば心配は消えます！」と。子宮の中で赤ん坊を相手に戦争が始まるのです。

あなたが言いたいのは、この赤ん坊は食べ物が必要としていて、子宮の壁に着床できなければ、栄養を取れなくて死んでしまうということですか。

そうです。もし10カ月後に出産した母親が、赤ん坊に食べ物や必要な栄養を与えなければその子は死ぬでしょう。着床できずに残された新しい生命にとつて受精後に子宮の壁からの栄養なしに生き残るチャンスはないのです。

## 国内ニュース

買ではないかと思うんで  
す。

芦野由利子

平成三年からとりあえず  
三年間実施することにし  
た。

『代理母は

人類にとって福音か』

朝日新聞1990.10.2

「ご質問ご答」より抜粋

朝日新聞1990.11.16

二度と繰り返さないため  
に、中絶について真実を伝  
えるべきです。胎児は人間  
です。中絶は人間を抹殺す  
ることです。

『これが一番いい選択  
だった?』

『3人目から

保育料免除』

プロ・ライフ

## 国際ニュース

それから、もう一つ。妊  
娠という事実からは、男は  
逃げられますが、女は逃げ  
られません。女性が主導権  
を持つて避妊をすべきで  
す。中絶は確かに望ましい  
ことではありませんが、  
「現時点では、これが一番  
いい選択だった」と思っ  
て、同じことを繰り返さな  
いようにしてほしいもの  
です。

【中絶薬の

講演是か非か】

リユー博士が講演する予  
定だった。西オーストラリ  
ア州の医師会は、これは検  
閲である」と抗議。病院の  
産婦人科医長も、大臣は個  
人的な見解を病院に押し  
付けるべきではない。中絶  
はこの病院で実際に行わ  
れており、女性のヘルスケ  
アのひとつと非難してい  
る。中絶は西オーストラリ  
ア州で非合法だが、実際は  
公認状態だった。

1990.11.30 / 朝日新聞

親子の関係、ヒトの概念が  
根源的に変わってしまう  
のでは…。妻が夫以外の精  
子で受精する人工受精を、  
ジャーナリストのヤンソ  
ン由実子さんは、科学的不  
倫」といつています。

秋田県の人口はここ数  
年、郡部を中心に年間五千  
人のペースで減り続けて  
いる。子供を産まない理由  
では「収入が少ない」「教  
育費の負担増」など経済的  
問題が多かった。このため  
県は歯止め策として援助  
の方針を決めた。大半の市  
町村の了解が得られれば、

朝日新聞

「みんなの健康・

どうしました』欄より

【子育てでも立派な父権】

「パパ、おっぱいちょう  
だい」と子どもに言われて  
も、たじろがない父親が多  
くなるのは、男女平等に好  
ましいと、スペインでは父  
親も出産休暇を取るよう、  
キャンペーンが行われて  
いる。

生殖技術の怖さは、代理  
母の契約に「障害のある胎  
児は中絶する」とあるよう  
に、生命の質が操作・管理  
されることです。人間、特  
に女の体の商品化も怖い  
ことです。代理母に報酬を  
支払うのは一種の人身売

女性の出産休暇を14週間にするよう検討中のEC諸国内にあつて、スペインは一九八九年に出産休暇を16週間と定めた先進国。しかも最後の4週間は、母親に代わつて父親が育児休暇を取れるようにした。申請できるのは、法律上結婚していて、妻が常勤で働いている男性。

しかしこの制度を利用した男性は、これまでにわずか500人以下、経営者側も「仕事に支障が出る」と消極的だ。しかし女性局は「愛の物語の果実(子ども)はまた、自由と平等の始まりでもあるべき」と意気さかん。スローガンも「愛の物語、子どもへの父権の平等」と、エル・パイス紙は伝えている。

1991・1/朝日新聞

## 読者の声

ビデオテープ「沈黙の叫び」早速お送り頂きありがとうございました。代金を送ります。13日のAMに到着しまして、丁度その日の夜(教会で挙式する二組のカップルの結婚講座としての)自然受胎調節の話に間に合い、早速使わせていただきました。正視できない画像もありましたが、これが中絶の現実であることをしっかりと心に刻んでおいて欲しいと頼みました。中、高生や若者達にも見せる機会があればいいと思います。ありがとうございました。

1・19

神様がつくられた大切な生命を一人たりとも人間の都合で胎児だからと安易に殺されることがないよう、この運動の発展を祈ります。

7・11

皆様の聖いお働きが主に祝されますよう。神の母の日に明け初めた年が、みのりゆたかなものになりますように。中絶反対「生命尊重の主旨がすべての人に伝わりますように！」

1・10

プロ・ライフのために祈る会員として、ロザリオ(毎週一回)させていただきます。ささやかな祈りを神様が祝福してくださいますように。みなさまの働きが多くの人々に支えられ、生命の尊厳が守られる社会になりますように。

9・28

心を痛め、ご活動に心を合わせさせていただきます。わずかでございますが、祈りと共に。

9・5

皆様方のお働きに対して、心ばかりの寄付をさせていただきます。

ていただきます。小さな力が集まって、少しでも大きな仕事が出来る力になるように祈っています。

7・21

尊い活動、心からお祈り申し上げます。この運動によって一人でも多くの人が救われますように。

7・17

心の痛みの切なる祈りと共に、お送りさせていただきますとごうございます。神様の豊かなご保護を念じながら……。

5・27

## 若者の声

よほど人間らしくない

ある外国では、胎児を人間とされていないということを知り、とても驚き、また同時に腹が立ちました。母親の胎内でもうすでに立派に育っている胎児を人間でないというその人達の方がよほど人間らしくないと思います。中絶されている場面を観た時、人事ではなく実際に自分と同じ女性の体内で行われているのだと改めて恐ろしく思いました。あの殺されてゆく胎児は何も悪くないのに親の勝手で生まれる権利をそこなわれるのは耐えられないと思いました。

(下田朋実)

「どれだけ残酷で非合理『考えが変わりました。』  
であるか

このビデオを見て、小さな赤ちゃんの命が、中絶において、たくさん失われていくことを知りました。また、中絶というが、どれだけ残酷で、非合理であるかを知りました。中絶が、かけがえない小さな命を失ってしまうことを、多くの人に知ってもらいたいと思います。そして、少しでも多くの赤ちゃんの命が、救われることを心から祈ります。

(高良貴代子)

私は、中絶のビデオを見て、私の以前の中絶に対する考えが、変わりました。中学の頃、中絶というものを、よく理解しておらず、私は自分勝手に、薬か何かで処理し、妊娠2、3ヶ月のみの赤ちゃんが、対象だと思っていました。また、身近にいなかったせいか、中絶という言葉を耳にしても、何らの抵抗もありませんでした。しかし、高校に入つて、聖書を勉強をしていくうちに、生命の尊さ、大切さというものが、痛いほどわかりました。特に、今度の中絶についての授業は、私の想像を絶する中絶の統計に驚いたり、以前の考えが、すべて否定されたような気持ちで受けていました。ビデオで、私が一番ショックだったのは、中絶された赤ちゃんは、確実に人であるという

ことです。聖書の時間、人の生命というものは、精子と卵子が一つになったときから始まっていると聞いたときは、本当にハッとしました。まして、妊娠10ヶ月で中絶なんて人殺しと同じだと思えます。そこには、人体がはつきりありました。私は、中絶後の赤ちゃんを見たとき、本当にショックでした。赤ちゃんが、どんなにお母さんに助けを求めていただろうと思えます。私は、このビデオを見て、中絶、中絶と軽々しく言っている若い人たちに、現状をわかって欲しいと思いました。

(森光淳子)

## プロ・ライフ

中絶反対をとねえた

―巡礼者の想い

著者

マイケル・T・マニオン

一冊 ¥250 + 郵送料

(本) プロ・ライフ一冊

注文：¥300 + 郵送料

(20以上)

本書においては、なぜ私達が人々に説教し、人が等しく神の子に生まれていくことを教える使命を帯びているのか、という問いかけに、聖書の立場から答えを出そうと試みています。

周囲の人々が全くの善意から、しかし誤って知識を持って一人の女性に影響を与え、中絶をたやすく決心させてしまう…そして一ヶ月、一年あるいは数年たったあるときに、その決意のもたらしたものは、安心でも充足でもなく、むしろ、無惨に打ちのめされた精神状態である事を知るので。

# 《事務局だより》

国際生命尊重会議東京  
大会 《大会参加申し込み  
要領》

期日：

1991年4月27日(土)

午後1時～5時

12時20分受付

場所：

全国社会福祉協議会

3階ホール

〒100

東京都千代田区霞が関

3丁目3-2

新霞が関ビル

交通：

地下鉄銀座線虎ノ門

下車徒歩3分

または

丸の内線霞ヶ関

下車徒歩7分

または

千代田線・日比谷線

霞が関下車徒歩5分

内容：

胎児の人権宣言／

世界生命尊重の日の

制定発表／

マザー・テレサ講演／

国際生命尊重会議会長

J・C・ウイルキ博士

講演／

宮下富実夫氏・

胎児のための音楽講演

申込み方法：

往復はがきにご自分の

住所 氏名 郵便番号

電話番号をご記入の上、

下記にお申し込み下さい。

(お一人様一通に限りま  
す。)

〒183

東京都府中市浅間町

3-9-9

愛のファミリー協会内

東京大会記念行事 係

TEL 0423-60-3919

申込み〆切り：

4月10日(必着)

定員：400(全自由席)

入場料：1,000円 当日

会場でお支払い下さい

かねてより、日本での生  
命尊重運動のためにご活  
躍され、このたびの国際生  
命尊重会議東京大会の実  
行委員長に任命された菊  
田昇先生が入院されまし  
た。先生はプロ・ライフ・  
ムーブメントにも大きな  
関心を持っておられる方  
です。先生のためにお祈り  
下さい。